

平成 30 年度 「家族キャンプ」

- 1 期 日 平成 30 年 8 月 11 日（土）から 12 日（日） 1 泊 2 日
- 2 場 所 国立立山青少年自然の家（立山町芦峯寺字前谷 1）
- 3 参加人数 36 人
参加児童生徒 14 人
参加家族 14 人
大学生ボランティア 8 人（富山大学人間発達科学部 1 年）
- 4 活動内容
(1 日目)

出会いの集い・ふれあいタイム



参加者とスタッフで出会いのゲームをしました。初めは緊張した様子でしたが、少しずつ笑顔が見られるようになりました。

沢歩き



猛暑のため、水量が少なかったのですが、沢の水の冷たさなど、自然を感じながら沢の中を歩きました。

ねぐら作り



作り方の説明を聞いてから、テントをみんなで組み立て、家族のねぐらとなるテント村を作りました。

野外炊事（カレーライス作り）



「みんなの食事をみんなで作る」ことをねらいに、かまど、炊飯、カレーの調理の三つの役割を参加者全員で分担して作りました。

ともしびの集い（キャンプファイヤー）



辺りが少しずつ暗くなるを感じながら、キャンプファイヤーの薪に点火しました。自分の思いを小さい薪に書き、燃え盛るファイヤーストームに投げ入れました。

（2日目）

水鉄砲づくり・水遊び



ペットボトルを使って、ストローの長さや太さを考えて一人一人が作りました。水鉄砲での水のかけ合いから始まり、最後は洗面器を使って水をかけ合うなど、思いっきり楽しむことができました。

別れの集い



ゆったりとした時間の流れと大自然の中で過ごした2日間。様々な人と関わり、活動した思い出をバルーンにのせて天高く舞い上がらせました。

5 アンケートから（参加者の声）

〈参加児童生徒〉

- みんなでカレーを作ったのが楽しかった。
- 自分の名前をみんなが呼んでくれたことがうれしかった。
- 沢歩きなど仲間と協力してすることができてよかった。

〈参加保護者〉

- 人見知りせず、共に行動できる人を見付け、自分の意見を話したり手助けしたりする姿が見られてよかった。
- テントを組み立ててテントで寝たことなど、様々な体験が楽しかったようだった。
- 保護者同士の交流が親としてはうれしかった。